

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 7月 8日

長崎地方裁判所大村支部

裁判所書記官 盛田 真之

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年 7月 30日から 令和 7年 8月 6日 午後 4時00分まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 7年 8月 12日 午前10時00分 長崎地方裁判所大村支部
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 7年 9月 1日 午前10時00分 長崎地方裁判所大村支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。	
買受申出の資格の 制限(民事執行規則 33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。	
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年 7月 8日から当庁不動産競売公告掲示場に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
	買受可能価額（円）			固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	5,770,000 4,616,000	一括	1,154,000	37,989	10,508
1	2,770,000				
2	3,000,000				

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 大村市富の原二丁目 |
| | 地 番 | 1 7 1 番 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 1 5 . 8 3 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 大村市富の原二丁目 1 7 1 番地 4 |
| | 家屋 番号 | 1 7 1 番 4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 5 9 . 6 2 平方メートル
2 階 4 7 . 2 0 平方メートル |

物 件 明 細 書

令和 7年 6月 5日

長崎地方裁判所大村支部

裁判所書記官 盛田 真之

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

売却対象外の土地（地番 1 7 1 番 2）を通行のため、無償で利用している。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ

ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

- 1 所 在 大村市富の原二丁目
地 番 1 7 1 番 4
地 目 宅地
地 積 2 1 5 . 8 3 平方メートル
- 2 所 在 大村市富の原二丁目 1 7 1 番地 4
家屋 番号 1 7 1 番 4
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺 2 階建
床 面 積 1 階 5 9 . 6 2 平方メートル
2 階 4 7 . 2 0 平方メートル

令和 7 年（ケ）第 3 号
令和 7 年 0 3 月 0 7 日受理
令和 7 年 0 3 月 2 5 日提出

現況調査報告書

長崎地方裁判所大村支部

執行官 藤 川 和 利

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-----|--------------------|
| 1 | 所 在 | 大村市富の原二丁目 |
| | 地 番 | 1 7 1 番 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 1 5 . 8 3 平方メートル |
-
- | | | |
|---|-------|--|
| 2 | 所 在 | 大村市富の原二丁目 1 7 1 番地 4 |
| | 家屋 番号 | 1 7 1 番 4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 5 9 . 6 2 平方メートル
2 階 4 7 . 2 0 平方メートル |

C

C

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ B (債務者兼所有者の妻)	① 現在, 物件 2 建物には, 私と夫である債務者兼所有者が居住しており, 他に占有者はなく, 物件 1 土地及び物件 2 建物の一部たりとも第三者との間に貸借関係はありません。
■ A (債務者兼所有者)	① 物件 1 土地は, 物件 2 建物の敷地として利用しており, 物件 1 土地の形状は, 不動産登記法第 14 条地図や地積測量図のとおりです。 ② 境界については, 隣接地各所有者との間に争いはありません。 ③ 物件 1 土地及び同 2 建物を取得した際, 仲介した不動産会社の担当者から, 物件 1 土地の西側に位置する農道との間に 171 番 2 土地が介在するが, 同土地所有者とは連絡が取れないため, 特に注意を要する旨の説明がありました。 ④ 物件 2 建物の取得後, 建物の増築はありませんが, 平成 7 年 10 月頃にオール電化の設置等の改装を行いました, その際の代金は完済しています。 ⑤ 物件 2 建物に関し, 全部事項証明書 (登記簿) 記載以外の増・改装は行っていません。 ⑥ 物件 2 建物には, 雨漏りや白アリ被害等, 建物の不具合はありません。 ⑦ 物件 2 建物内では, 取得時から室内で犬一匹と, 猫二匹を飼っています。
■ 某 (大村市役所道路管理課吏員)	① 物件 1 土地の北側に存する大村市所有の 171 番 3 土地 (地目: 畑) は, 市道と一体となっており, 利用料等については, 無償です。

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■① [土地の形状・範囲に関する意見]

物件1土地の形状は、国土調査の結果を記載した不動産登記法第14条地図、地積測量図、現地概測、関係者の陳述等から、概ね、土地建物位置関係図のとおりであり、形状及び範囲は明確化されているものと思料する。

なお、「関係人の陳述欄」記載のとおり、物件1土地の西側に位置する農道との間に171番2土地が介在するため、買受人においては、注意を要するものと思料する。

② [建物の形状、増築に関する意見]

物件2建物については、建物図面が具備されており、現地概測の結果も当該図面に合致するものであり、形状等は明確化されているものと思料する。

③ [土地の占有権原に関する意見]

物件1土地は、物件2建物の敷地として利用されており、同土地の占有関係は2丁記載のとおりであると思料する。

④ [建物の占有権原に関する意見]

物件2建物の占有関係は、関係人の陳述及び同建物の状況から、2丁記載のとおりであると思料する。

⑤ [接面道路に関する意見]

物件1土地は、その北側に市道(大村市役所道路管理課における調査の結果)が接面している。

⑥ [その他の意見]

- (1) 土地建物位置関係図における物件の所在及び写真における指示先の物件の所在は、おおよその位置を示したものである。
- (2) 物件2建物にはオール電化設備が設置されている。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
07年03月10日 (月) 12:05-12:50	物件所在地	物件の特定, 写真撮影(外部), 事情聴取(B(債務者兼所有者の妻)); 調査期日の打合せ, 占有関係等について)
07年03月10日 (月) 13:40-13:55	長崎地方法務局 諫早支局	全部事項証明書・公図等交付申請
07年03月15日 (土) 10:40-11:35	物件所在地	概測等, 土地建物位置関係図・建物間取図作成, 写真撮影(内部), 事情聴取(A(債務者兼所有者)); 占有関係等について)
07年03月19日 (水) 13:10-13:30	大村市役所道路管理課	道路調査
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人 を立ち会わせ, 技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

法14条地図(写)

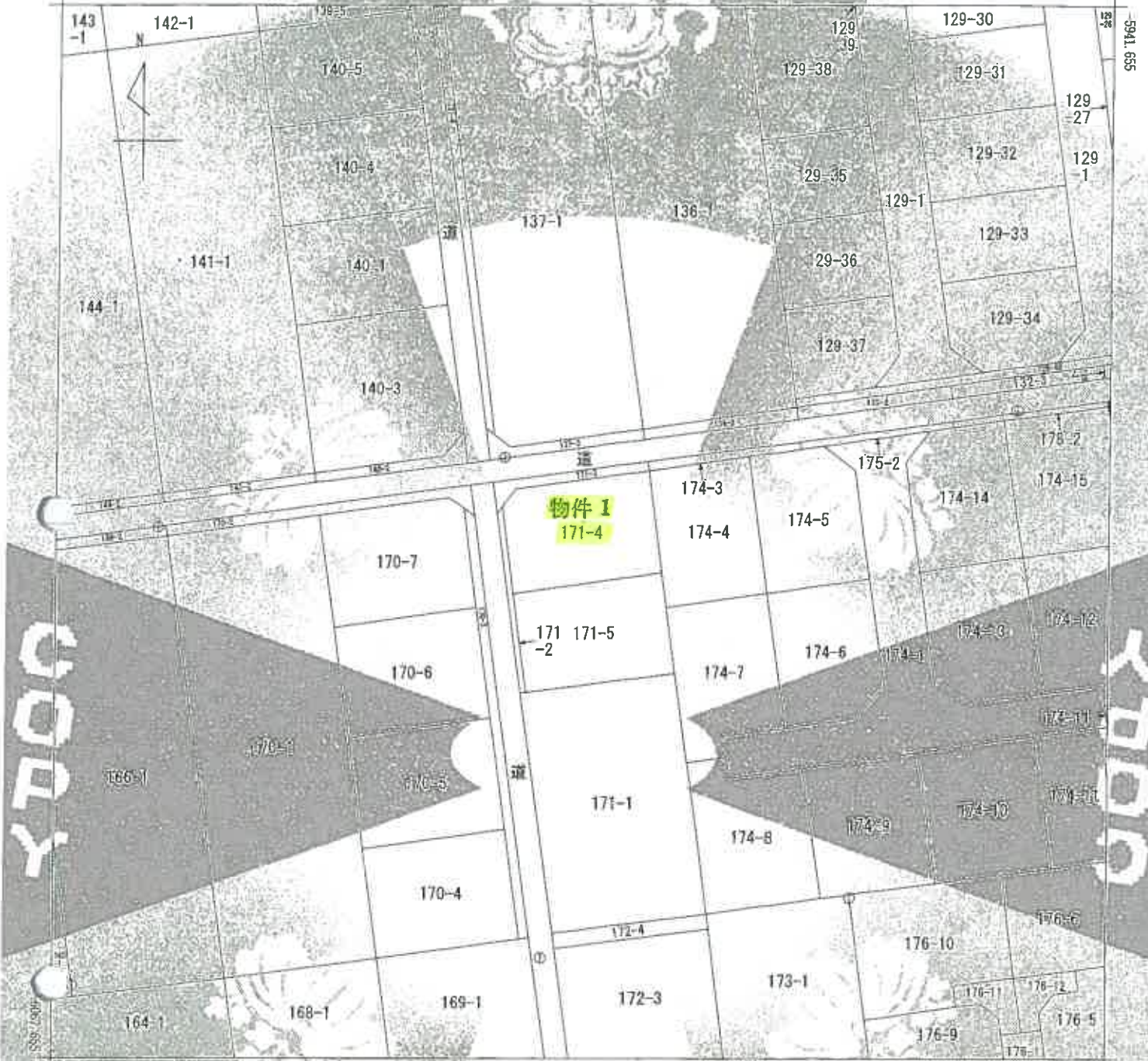
179-14
179-7

129-42
138-4

179-5

基準値種別：図上測定

+41349.072



物件1
171-4

地番区域見出
富の原2丁目

請求部分	所在地	大村市富の原2丁目	地番	171番4
出力倍率	1/500	精度区分	甲	図上
作成年月日	平成3年12月	審判年月日(原図)	平成4年12月21日	補正事項
分類	地区(法第14条第1項)	種類	地籍図	

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

A3→A4への縮小書面

令和7年3月10日

長崎地方法務局諫早支局

登記官

6

請求番号：18-1

(1/1)

公用

產品部

A3→A4への縮小書面

昭平	年	月	日	登記
地	番	171-2	171-4-5	
地	土	地	所	在
地	所	所	所	所

大村市 道の駅こ丁目

前 171-2 後・新

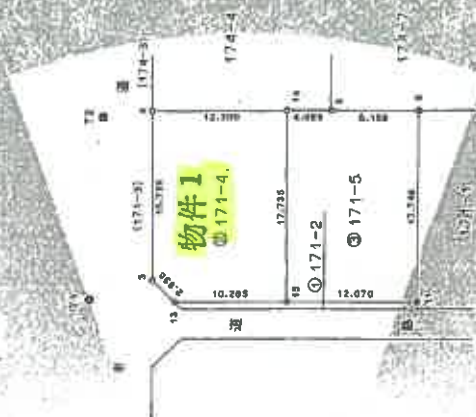
	Y	X	Y _{n+1}	X _{n+1}	Y _{n+1} -X _{n+1}	Y _{n+1} +X _{n+1}
1	17.936	2.977	-15.999			
2	-17.786	-1.426	3.818			
3	5.082	0.841	-17.845			
4	11.324	16.419	13.732			
5	-20.448	14.573	-19.366			

[illegible]

總 參 ①171-2	
合 計	44,691,421.0
食 料 費	43,351,700
飼 料 費	13,342,510
其 他 費	1,339
合 計	44,695,549

項目	計	X	Y
1	0.000	0.000	0.000
2	3.698	3.698	18.523

電話	03-5561-1111	03-5561-1111	03-5561-1111
電報	5561	5561	5561
郵便	100-0001	100-0001	100-0001
住所	東京都千代田区千代田	東京都千代田区千代田	東京都千代田区千代田



作 者 十世班禅额尔德尼

長崎県土地家屋調査士会館

五

502

これは図面に記録されている内容を証明し、この図面による
 令和7年3月10日 長崎地方広域地籍調査室

登記官

A3→A4への縮小書面

建物図面図

平成27年3月22日登記

系図番号

171-4

建築物の所在

大村市富の原三丁目171番地4

519883 各階平面図

1階



求積表

1) $7.280 \times 8.150 = 59.523200$
 床面積 59.52 m^2

2階



求積表

1) $7.280 \times 7.280 = 52.998400$
 2) $0.910 \times 2.730 = 2.464500$
 3) $1.820 \times 1.820 = 3.312400$
 合 計 47.20 m^2
 床面積 47.30 m^2

作成者 土地家屋調査士

(平成27年5月22日登記)

縮尺 1/200

縮尺 1/200

縮尺 1/200

縮尺 1/200

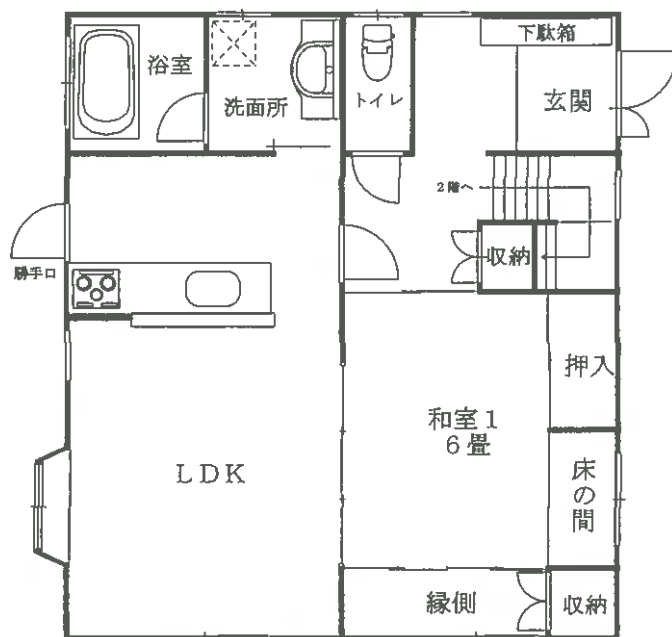
(長崎県土地家屋調査士会館)

土地建物位置関係図

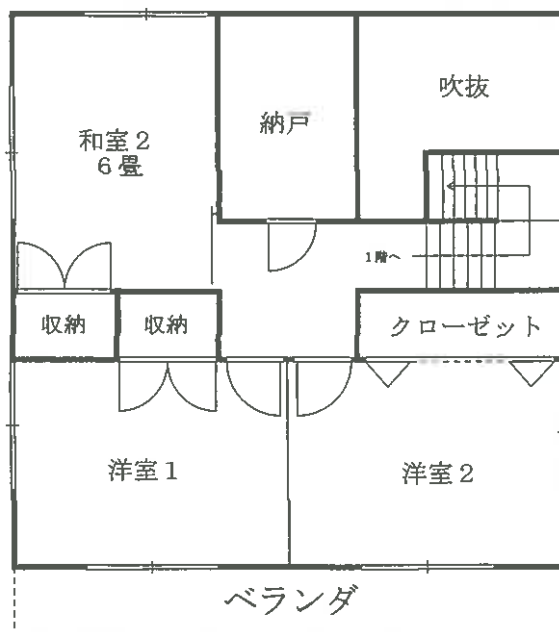


この図面は建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等の確定的な位置を保証するものではない

間 取 図



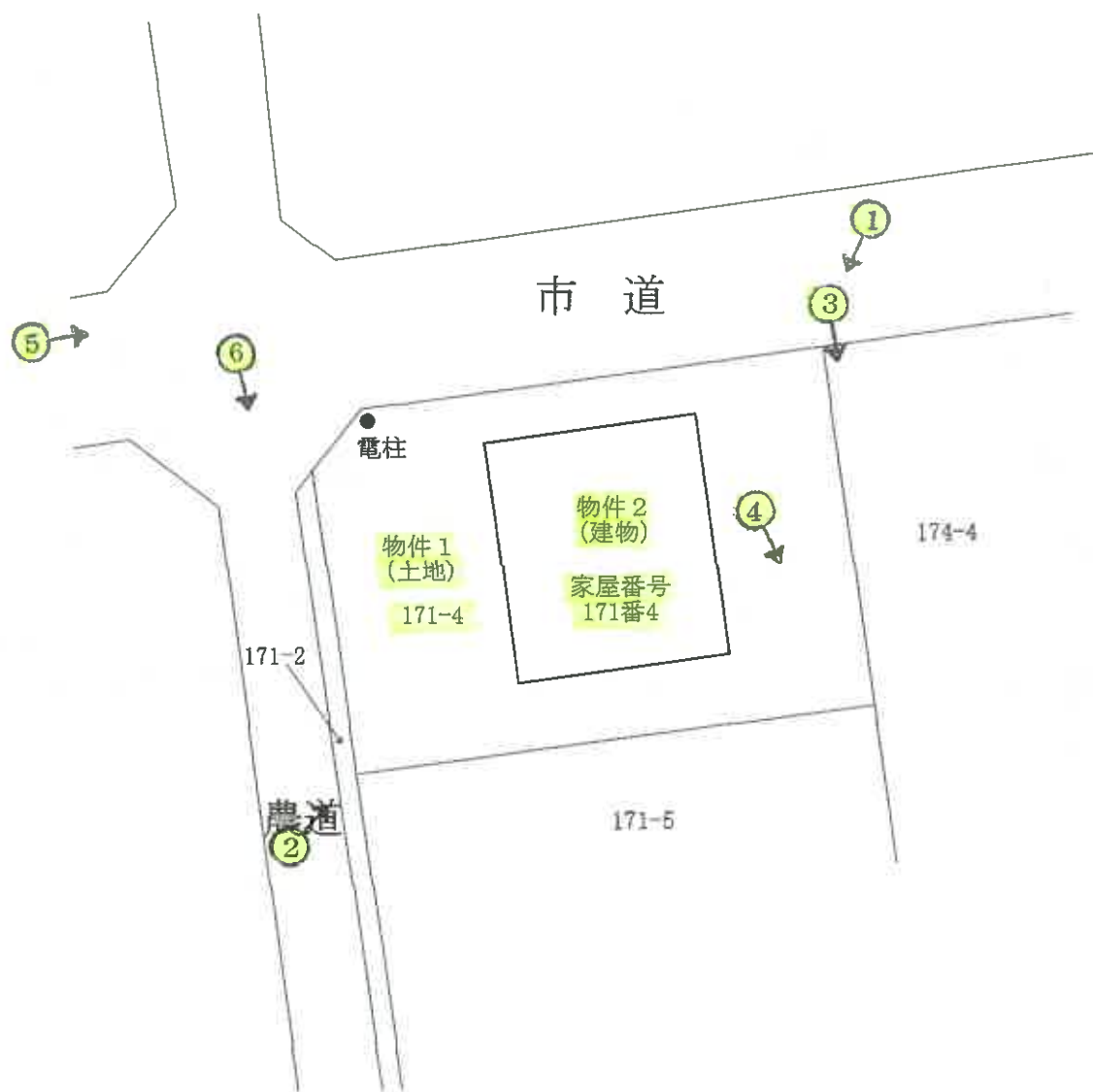
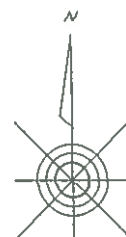
1 階



2 階

土地建物位置関係図

←○写真撮影位置方向



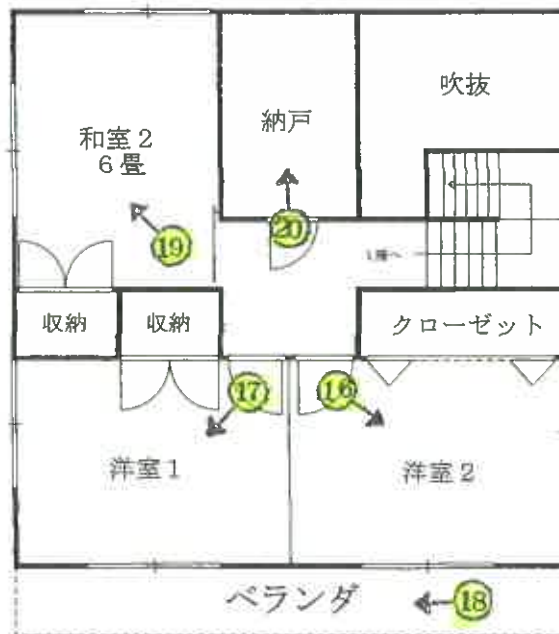
この図面は建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等の確定的な位置を保証するものではない

間 取 図

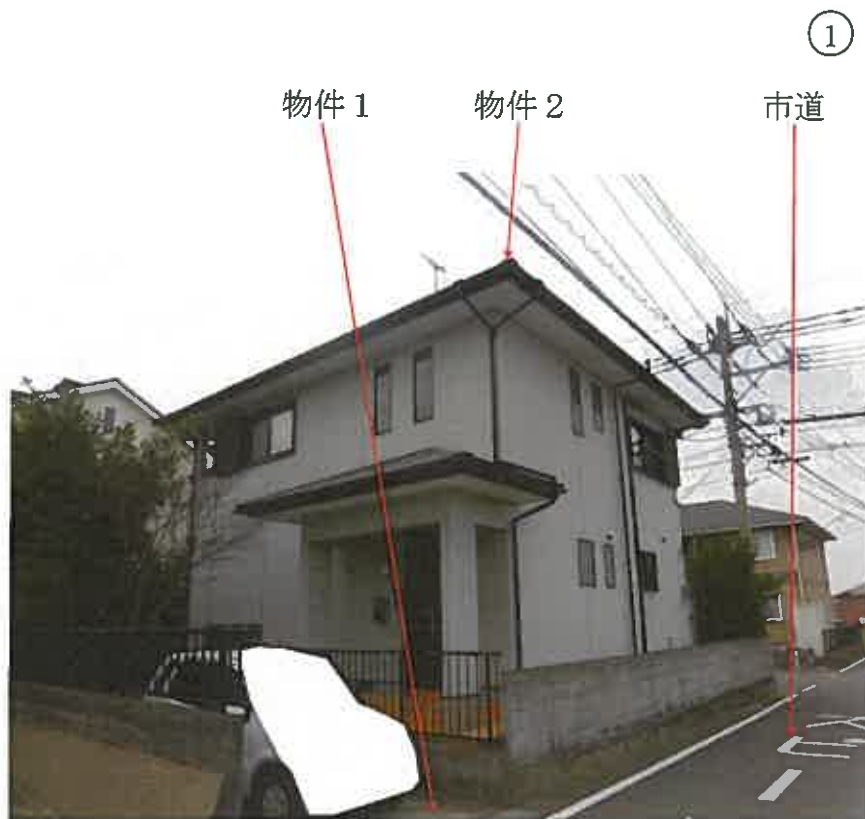
←●写真撮影位置方向



1階



2階



④

物件 1

物件 2



⑤

市道

物件 1

電柱(九電)

農道



⑥

物件 1

隣地 171-2

農道



⑦

玄関



⑧

収納



⑨

洗面所



⑩

浴室



⑪

LDK



⑫

I Hコンロの固着状況



⑬

LDK



⑭

和室 1



⑮

縁側



⑬

洋室 2



⑭

洋室 1



⑮

ベランダ



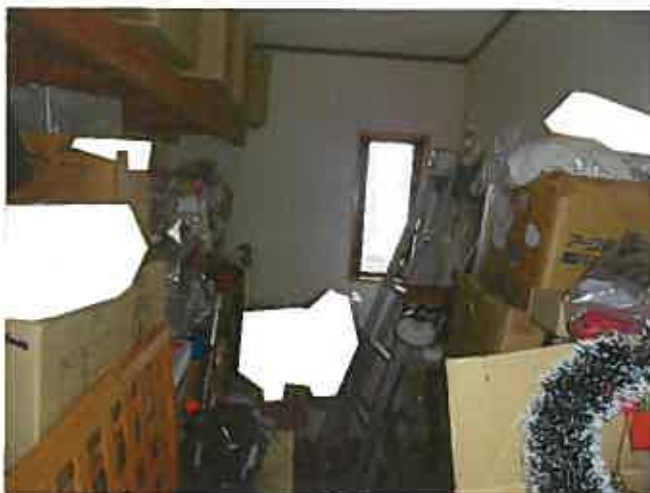
⑯

和室 2



⑰

納戸



令和7年 (ケ) 第 3 号
令和7年 3月 7日 評価命令受理
令和7年 3月 15日 現地調査
令和7年 3月 26日 評価

長崎地方裁判所 大村 支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

荒川千洋

第1 評価額

一括価格	
金 5,770,000円	
内訳価格	
物件1 (土地)	金 2,770,000円
物件2 (建物)	金 3,000,000円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地番 地目 地積	大村市富の原2丁目 171番4 宅地 215.83㎡	同左
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	大村市富の原2丁目171番地4 171番4 居宅 木造スレート葺2階建 1階 59.62㎡ 2階 47.20㎡	同左
番号	特記事項		
—	なし		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

(物件1 宅地)

位 置・交 通	J R大村線「竹松駅」の北西方・道路距離約 1.6 km。 最寄りバス停「富の原 2 丁目」の南東方・道路距離約 220m (徒歩約 3 分)。	
付 近 の 状 況	低層の戸建住宅及び共同住宅が建ち並ぶ住宅地域である。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	非線引都市計画区域 第 1 種住居地域 60% 200% なし 大村市立地適正化計画、居住誘導区域
画 地 条 件	北側間口約 18m、奥行約 12m、面積 215.83 m ² のほぼ長方形の平坦な土地である。	
接面道路の状況	北側が幅員約 5mのアスファルト舗装市道「富の原 2 丁目 3 号線」(建築基準法第 42 条 1 項 1 号) に約 18mにわたって等高ないし僅かに高く接面している。 尚、外観上では西側の道路にも面している角地に見えるが、当該道路は農道「165 号富の原縦 1 号線」とその中心線から東へ約 0.65mセットバックした他人所有の土地(171 番 2、畑、13 m²、付属資料「土地建物位置関係図」参照)であり、本件土地の西側はこの他人所有の土地に接しているため厳密には角地ではない。 但し、当該隣接土地の所有者との連絡が取れない事もあり、現在は無償で通行し、その地下には農道を通る上水道の本管からの引込管を敷設し、事実上角地としての効用を享受している。 しかし当該隣接地の利用に当たっては何ら権原を有しておらず、僅かな面積ではあるが将来的に現状のまま使用出来る保証は無いので、この点に関しては土地価格の評価に於いて考慮する。	
土地の利用状況等	目的物件は物件 2 (居宅) の敷地の用に供され最有効使用の状況にある。	
供給処理施設	上水道 前面道路(北、西側)に本管あり。 ガス配管 前面道路(北、西側)に本管あり (但し、下記参照)。 下水道 前面道路(北、西側)に本管あり。 (注) 供給処理施設における「前面道路に本管あり」とは、目的物件の前面道路に公的セクターが管理する本管(以下、施設管という)がある事をいう。「なし」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。 ・ガス配管は上記の通り前面道路にあるが、物件 2 はオール電化住宅でガスは利用していない。	

特 記 事 項	目的物件の周辺は法第 14 条地図が整備され、また、法務局には分筆の際の地積測量図も備え付けられており、境界争いは無く前面道路や隣接地との境界は概ね判然としている。 外観調査、地歴調査、ヒアリング等を通じて土壌汚染の端緒を確認できなかった。 また、目的物件内及びその周辺は周知の埋蔵文化財包蔵地ではない。
---------	---

2 建物の概況・利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日 :平成7年6月16日新築 経 過 年 数 :新築後30年 経済的残存耐用年数 :5年（下記「特記事項」欄参照）
仕 様	構 造 木造 屋 根 スレート葺 外 壁 サイディング、他 内 壁 ビニールクロス、タイル、他 天 井 ビニールクロス、合板、他 床 畳、フローリング、タイル、クッションフロア、他 設 備 電気、給水・給湯、等
床面積（現況）	106.82 m ²
現 況 用 途 等	現況用途：居宅 間 取 り：4LDK
品 等	普通
保守管理の状態	普通（但し、下記「特記事項」欄参照）
建物の利用状況	現況調査報告書記載の通り
特 記 事 項	建築後既に30年を経過した建物であるが、現所有者の陳述では取得後間もない時期(平成26年10月頃)にリフォームを行なっており、確認の結果、内装及び設備の一部更新と、外壁並びに屋根の塗装工事が施されている。 その結果、経済的残存耐用年数はある程度の期間延長されたものと判断し、工事が行われた時期からの経過年数、及び工事の内容・程度等を考慮してその期間を5年と判定した。 建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。 尚、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 「現況調査報告書」記載の通り室内でペットを飼っており、特に2階南西側の洋室（付属資料「間取図」の「洋室1」）ではかなり強いペット臭が認められたので、評価に当たっては観察減価に於いて考慮する。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格（円） (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ×エ＝オ
1	31,300	1.000	215.83	0.90	6,080,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査基準地 大村（県）－11

$$\begin{array}{ccccc} \text{公示価格等} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} \\ 38,100 \text{ 円} & \times 102.3/100 & \times 100/100.0 & \times 100/124.6 & \approx 31,300 \text{ 円} \end{array}$$

◇ 時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正：方位（北）±0%

◇ 地域格差：街路条件 +3.0%、交通接近条件 +10.0%、環境条件 +10.0%、
以上の相乗積 +24.6%

イ 個別格差：方位（北）±0%、事実上の角地 +2.0%、隣接土地との関係 -2.0%、
以上の相乗積 ±0%

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 物件 2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格（円） (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ＝エ
2 主である建物	155,000	106.82 ㎡	0.130	2,150,000

ウ 現価率

現価率は耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して求める。

主である建物

$$\begin{aligned} \text{現価率} &: \{ 1 - (1 - R) \times (n \div N) \} \times (1 - q) \\ &= 0.186 \times 0.70 = 0.130 \\ &\quad (\text{小数第 3 位未満切り捨て}) \end{aligned}$$

R：残価率 5%

n：経過年数 30 年

N：経済的全耐用年数 35 年（経過年数＋経済的残存耐用年数）

q：観察減価法による補正率 30%（保守管理の状態）

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 敷地利用権等価格

(万円未満四捨五入)

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ＝ウ
1	6,080,000	0.35	法定地上権	2,130,000

イ 土地利用権等割合

抵当権設定時に土地（物件1）と建物（物件2）の所有者が同一人であるので、競売の実行により建物のために法定地上権が成立しその割合を35%と判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物 件 番 号	基礎となる価格 (円) (1①オ、1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (万円未満四捨五入) (ア+イ) × ウ × エ × オ
1	6,080,000	-2,130,000		1.0	0.7	2,770,000
2	2,150,000	+2,130,000	1.0	1.0	0.7	3,000,000
一括価格 (合計)						5,770,000

ウ 占有減価修正： 特にない。

エ 市場性修正： 特にない。

オ 競売市場修正： 第2 評価の条件 欄記載の不動産競売市場の特殊性を考慮した。

第6 参考価格資料

1 公示価格等

地価調査基準地	大村（県）－ 1 1
所 在	大村市富の原 1 丁目 1375 番 31
価 格	38,100 円
位 置	富の原 1 丁目停 270m
価 格 時 点	令和 6 年 7 月 1 日
地 積	181 m ²
供給 処理 施設	水道、ガス、下水
接 面 道 路	北 6m 市道
用 途 地 域 等	非線引都市計画区域内、第 1 種住居地域、(60%、200%)
地 域 の 概 要	中規模一般住宅が建ち並ぶ区画整然とした住宅地域

2 固定資産評価額（令和 6 年度）

物件 1	4,412,860 円
物件 2	1,924,200 円

第7 附属資料の表示

位置図（地理院地図）

見取図（地理院地図）

地図（写し、A3 サイズを A4 サイズに縮小）

地積測量図（写し、A3 サイズを A4 サイズに縮小）

建物図面・各階平面図（写し、A3 サイズを A4 サイズに縮小）

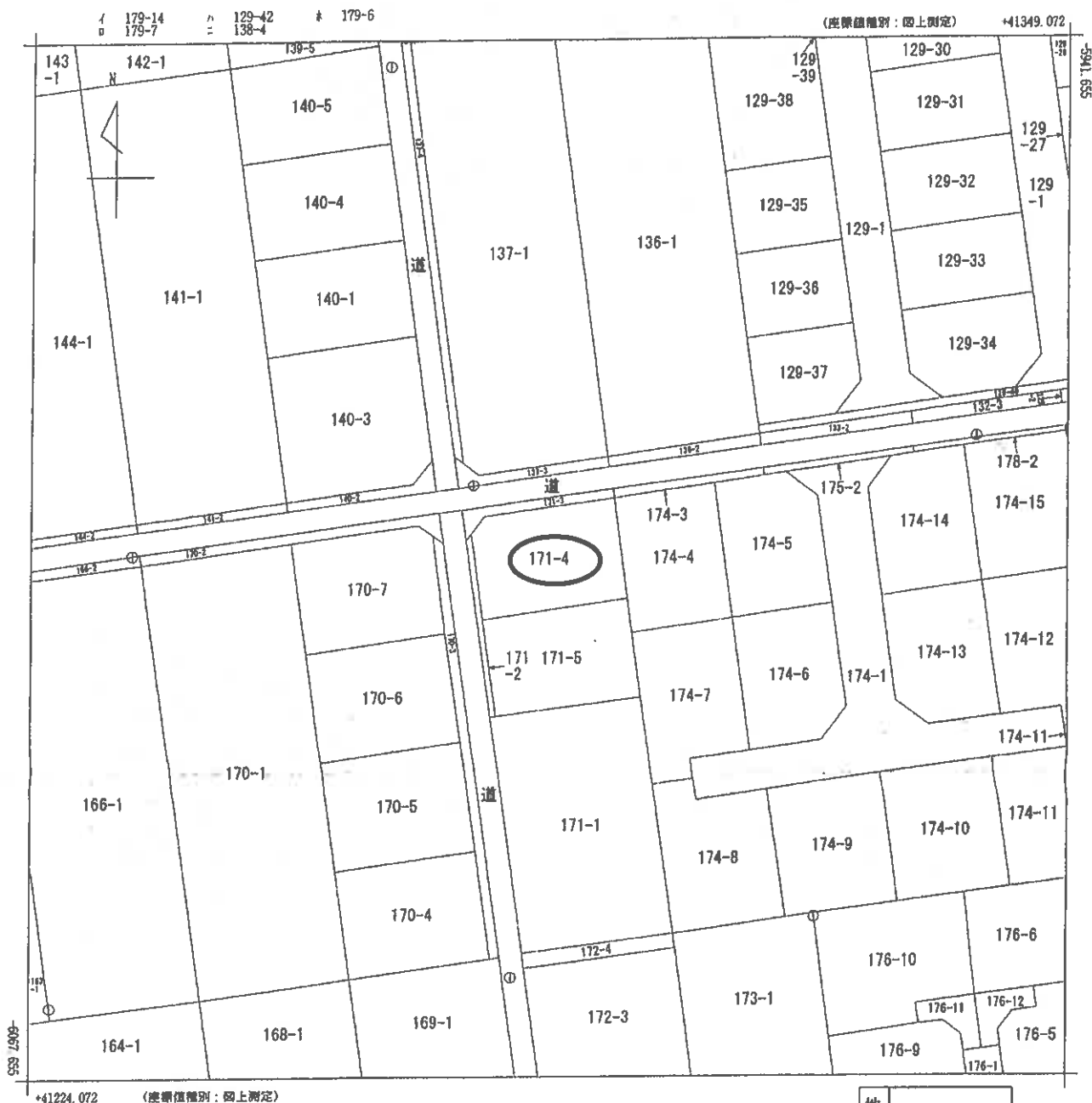
土地建物位置関係図

間取図

以 上







地番
区域見出
富の原2丁目

請求部	所在	大村市富の原二丁目				地番	171番4			
出力縮尺	1/500	精度区分	甲三	座標系 番号又は記号	I	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	平成3年12月				備付年月日 (原図)	平成4年12月21日		補記事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年3月10日
長崎地方法律事務所

請求番号: 18-1
(1/1)

登記官

A 3 を A 4 サイズに縮小

公用

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
令和7年3月10日 長崎地方法務局護国支局

宣統元年三月十日

長崎地方財務局豫算支團

제품 소개

請求番号: 18-2

215970

昭·平〇九年〇月〇日登記

地	番	171-2 171-4.-5
---	---	-------------------

大分市福原二丁目

前、7/2後・新

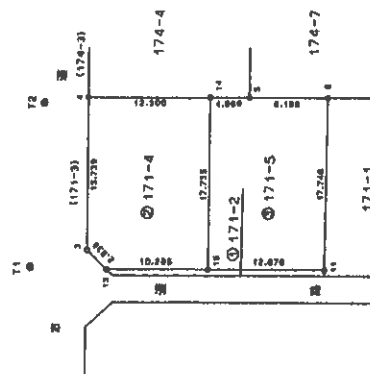
炮 臺 名	X	Y	座 標	$Y_n - Y_{n-1}$	$X_n - (Y_n + Y_{n-1})$
15	-17.933	-2.977	南	-15.959	286.73694H
13	-17.786	-1.426	南	3.818	-26.73694H
4	-6.082	0.841	南	17.845	-108.533290
14	-8.324	16.419	南	13.732	-114.30516H
	-20.443	14.573	南	-19.395	397.37300
			南	43.671721	215.895005
			南	215.895005	215.895005*
			南	65.28	65.28

點	X	Y	$Y_n - Y_{n-1}$	$Y_n - (Y_n + Y_{n-1})$
11	3171-5	29.553	-15.715	459.328475
1		-17.932	-2.977	-347.418009
14		-20.486	14.573	-346.955415
5		-24.508	13.963	44.372180
5		-32.574	12.738	511.153388
			價	41.042619
			價	215.5213095
			價	215.52
			價	61.10

地 址	第 ①171-2
公 號	444.6914210
合計面積	431.3571700
地 號	13.3942510
地 別	13.33 ^註
單 位	403

点名	標高	X 座標	Y 座標
T1		0.000	0.000
T2		-3.698	18.533

新装の通型	無界
コンクリート	
ゾラスチック	11-15
ペンキ	
鏡	3-4-5-6-13-14



土崎家屋調査士

(長崎県土地家屋調査士会)

年 3 月 24 日作製)

申請人

A3をA4サイズに縮小

登記年月日：平成7年6月22日

これは図面に記載されている内容を証明した図面である。
 令和7年3月10日 長崎地方建設局建築課

登記官

請求番号：18-3

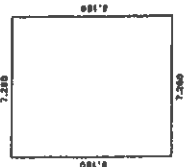
519889 各階平面図

昭・平 7年6月22日登記

建築物各階平面図

家屋番号	171-4
建物の所在	大村市富の原二丁目171番地4

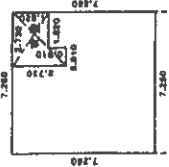
1 階



求積表

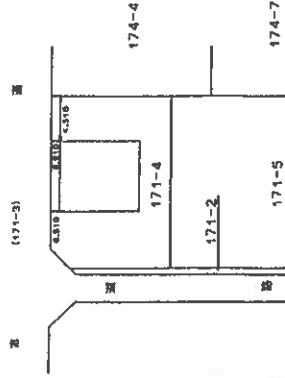
イ) $7.280 \times 8.190 =$	59.623200
床面積	59.62 m^2

2 階



求積表

イ) $7.280 \times 7.280 =$	52.998400
ロ) $0.910 \times 2.730 =$	-2.464300
ハ) $1.820 \times 1.820 =$	-3.312400
合 計	47.201700
床面積	47.20 m^2



製作者 土地家屋調査士

(長崎県土地家屋調査士)

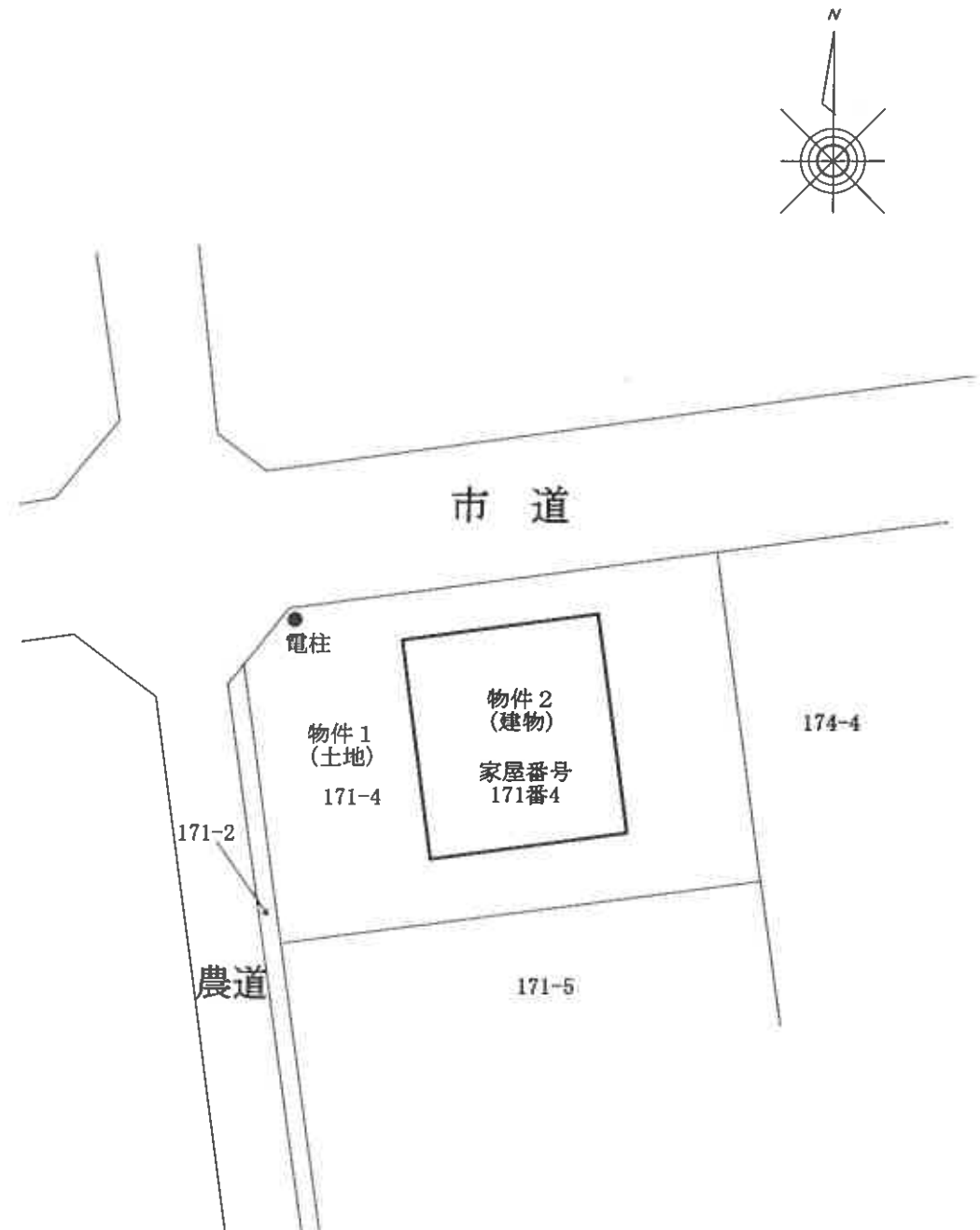
縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

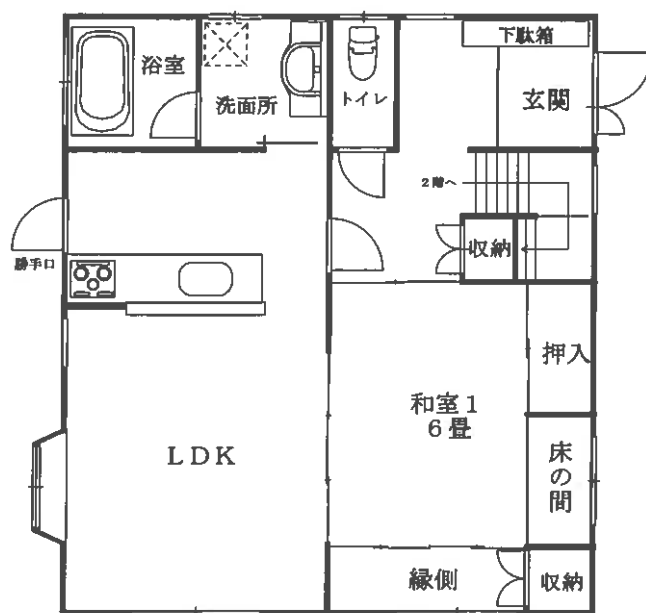
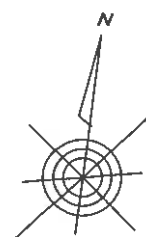
A3をA4サイズに縮小

土地建物位置関係図

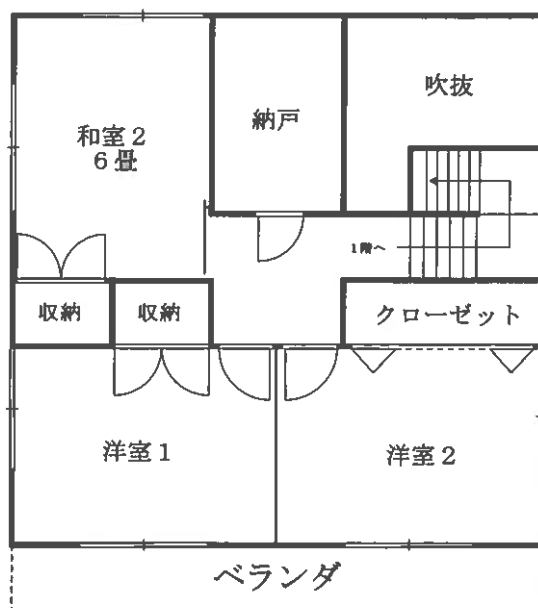


この図面は建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等の確定的な位置を保証するものではない

間 取 図



1 階



2 階